



ミャンマー事業について

乾燥事業及び冷凍事業の概要



2019年10月21日
株式会社 新進
海外事業部 小林 真

株式会社新進 会社概要

商 号	株式会社 新進 SHIN-SHIN FOODS CO.LTD
創業設立	創業 明治27年（1894） 5月、設立 昭和15年（1940） 12月
資 本 金	1億円
代 表 者	代表取締役社長 籠島正雄
年 商	162億6,661万円（第83期平成29年3月期単体）
従業員数	444名（男300名、女144名）平成30年3月現在 （準社員62、嘱託15含む）
事業内容	漬物、アミノ酸調味液、小麦澱粉、小麦たん白食品、ポテト等チルド製品および各種食料品の製造販売、ホテル経営、 乾燥・冷凍野菜製造 ・輸出他
事 業 所	別紙参照

漬物（福神漬）



惣菜（大根おろし）



チルドポテト



野菜ペースト



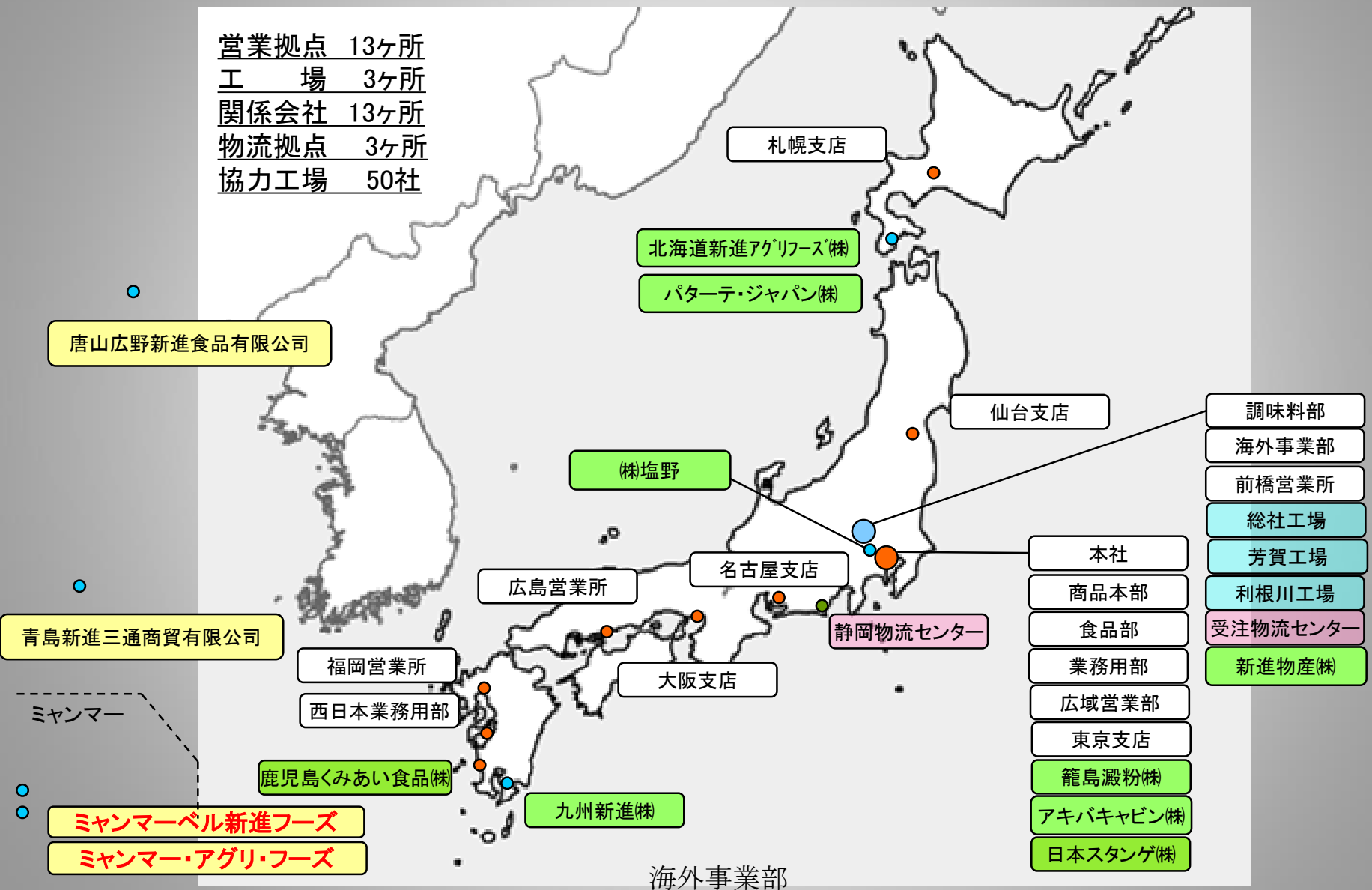
アミノ酸液



営業・生産拠点、グループ会社



営業拠点 13ヶ所
工場 3ヶ所
関係会社 13ヶ所
物流拠点 3ヶ所
協力工場 50社



海外事業部

ミャンマーに取り組む理由は？

カントリーリスクの回避

中国では食品偽装、残留農薬等、不安定な諸問題が定期的に発生いたします。中国+1を要望される多くのユーザーに対し、要望に応えることが大きな理由です。

開発途上国への先行投資

先行して取り組むことで競合先との差別化が図れます。人権費は中国より若干安いのですがインフラが遅れており総合的コストは高くなる可能性はありますが、カントリーリスクを回避したい要望は強く需要は高いと考えます。

乾燥／冷凍 事業所の位置

標高115m



冷凍野菜工場
所在地「ネビドー」

乾燥野菜工場
所在地「ヘーホー」

標高1000m



乾燥野菜事業[MBSF]

創業	2012年3月				
合併設立	2014年9月				
会社名	ミャンマーベル新進フーズ株式会社				
代表者	YE MYINT MAUNG				
所在地	南シャン州 カロー地区 ヘホ町 ワーユオンピン村				
敷地面積	11,625坪				
建物面積	1,036坪				
全従業員数	135名				
生産品目	キャベツ、その他野菜				
資本比率	MBC 55%、新進 45%				



FSSC22000の認証取得

2014年9月にキックオフ、2018年11月に野菜工場として初の認証取得。可能性のある食品企業16社を選択し進めた結果、取得企業は3社(残り水産物関係の2社、オランダの認証機関)



冷凍野菜事業[MAF]

合併設立	2016年 7月				
会社名	ミャンマーアグリフーズ株式会社				
代表者	YE MYINT MAUNG				
所在地	ネピドー ダッキナ地区 ピンマナー町 チーイン村				
敷地面積	20,770坪				
全従業員数	450名				
生産品目	ほうれん草、オクラ、インゲン、枝豆、サトイモ				
資本比率	MBC30%、新進30%、A社30%、B社5%、C社5%				



海外事業部



課題

栽培の安定化

- ・雨季の長雨やスコールによる水没
栽培時期の選定
- ・アブラナ科による連作障害
輪作、栽培技術、土壌改良
循環型農業のモデル化



官(JICA)への期待: 大型農業機材の提供

MBSFでの取組例①

【Try1 特殊堆肥化】

土壌改良

結果:

土が良くなる

⇒収量増
品質向上
均一化

⇒センチュウ、根こぶ病
の抑制

⇒トータルコスト低減
(農薬量の低減、効果
継続、化学肥料の効
果継続)

将来トラクター準備

自社圃場
循環型農業
モデル化
継続

キャベツ残渣

目的:

副産物の有効利用
(粉碎必須)

⇒専門家の知識が必要

⇒農業は化学
(感覚ではなく根拠に基
ずき進める)

⇒連作障害対策
(アブラナ科)

⇒MBSF自社圃場の栽
培には必ず使用

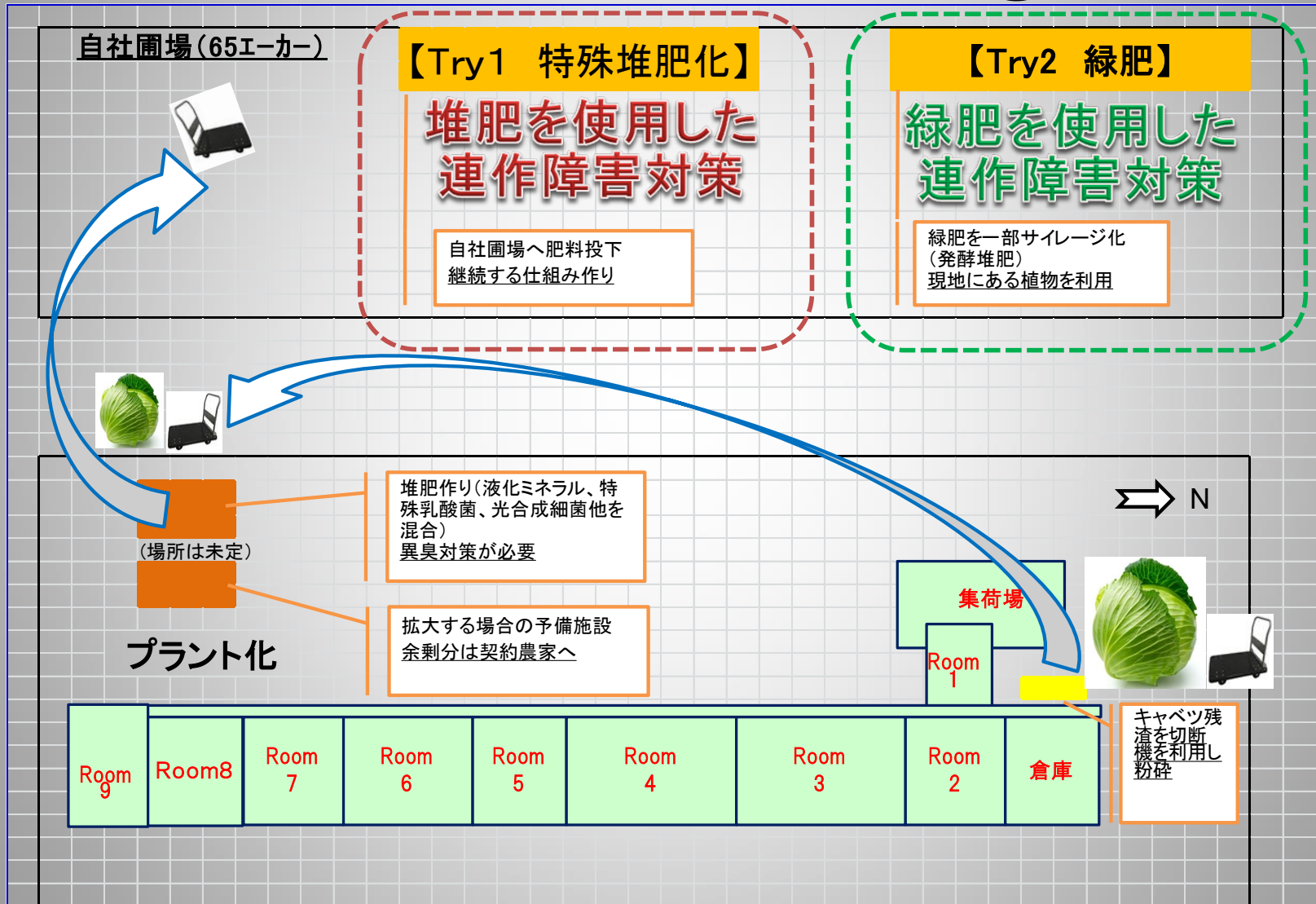
肥料投下

2019年度マニュアル化

堆肥作り

・・・10年後の栽培を安定させる・・・

MBSFでの取組例②



【MAFの標語】

“SAFETY FOODS FOR PEOPLE
PEOPLE FOR SAFETY FOODS ”
(人々のために安全な食品を、安全な食品を人々に)

「ミャンマー事業」へご賛同いただける多くの企業さまをお待ちしております。

ご清聴ありがとうございました